

IV 地域保健課の業務概要

地域保健課の業務は、保健師関係指導事業、母子保健事業、成人・老人保健事業、総合的な自殺対策推進事業、地域・職域連携推進事業、栄養改善事業及び精神保健福祉事業を主要業務として、管内市町及び関係機関と連携を図りながら事業を推進している。

1 保健師関係指導事業

保健師は、企画課・地域保健課・疾病対策課・成田支所に配属され、保健所内各種保健指導業務の他、市町保健活動に対して、各種会議や連絡会等で計画・評価の支援を行っている。

保健活動の推進を図るとともに、管内の保健師を対象とした現任教育連絡会や新任期、中堅期、管理期といった保健師のキャリアに応じた研修会の開催、印旛郡市保健指導者研究会等への支援、管内看護管理者や在宅療養を支える関係者を対象に研修会を開催し、保健医療従事者の資質向上に努めている。

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、5類感染症に移行したことを受け、流行状況に配慮し、また基本的な感染対策を継続しながら、研修会等の事業を徐々に再開実施した。

(1) 管内概況

管内の保健師就業数は、保健所22人（次長1人、企画課1人、地域保健課5人、疾病対策課9人、成田支所6人）であり、市町村保健師は令和5年4月1日現在186人（新規採用者12人）である。市町で保健衛生関係に従事する者は120人、福祉30人、介護保険23人、他13人となっている。

表1－(1) 管内保健師就業状況（令和5年4月1日現在）（単位：人）

区 分 年 度	総数	保健所	市 町 村			
			保健衛生	福祉	介護保険	その他
令和3年度	199	19	115	28	25	12
令和4年度	209	23	121	27	26	12
令和5年度	208	22	120	30	23	13
成田市	32	-	18	6	3	5
佐倉市	38	-	29	4	3	2
四街道市	18	-	13	2	2	1
八街市	16	-	9	1	5	1
印西市	25	-	15	6	2	2
白井市	22	-	14	4	3	1
富里市	16	-	10	3	3	0
酒々井町	9	-	7	0	1	1
栄町	10	-	5	4	1	0

(2) 保健所保健師活動

地域保健法の施行により対人サービスの多くは住民に身近な市町村が実施しており、保健所保健師は、広域的・専門的な活動を中心に事業を実施し、市町村や関係機関と連携を取りながら支援活動を展開している。令和5年5月、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、5類感染症に移行したことを受け、対象に応じて基本的な感染対策を継続し、保健活動を行った。

表1－(2) 家庭訪問等個別指導状況（令和6年3月31日現在）（単位：件）

種別	区分	家庭訪問		訪問以外の保健指導			個別の連携 ・連絡調整	
				面接		電話		メール
		実数	延数	実数	延数	延数	延数	延数 (再掲：会議)
総数		146	465	657	785	3,589	294	766(32)
感染症		37	42	5	15	2,040	176	91(7)
結核		90	399	38	70	945	80	568(17)
精神障害		-	-	-	-	-	-	-(-)
長期療養児		8	9	80	82	126	-	53(8)
難病		11	15	403	487	242	38	54(0)
生活習慣病		-	-	-	-	-	-	-(-)
その他の疾病		-	-	127	127	224	-	-(-)
妊産婦		-	-	-	-	-	-	-(-)
低出生体重児 (未熟児)		-	-	-	-	-	-	-(-)
乳幼児		-	-	-	-	-	-	-(-)
その他		-	-	4	4	12	-	-(-)
訪問延世帯数		133	453					

(3) 保健師関係研修(研究)会実施状況

ア 管内保健師業務連絡研究会

表1-(3)-ア 管内保健師業務連絡研究会実施状況

開催年月日	テーマ	主な内容	参加人員
令和5年 6月9日	「新たな健康課題」 「ICTの活用」等、地域の特性と時代の流れに応じた保健活動の推進を積極的に目指す。	事業検討 『予防接種（HPVワクチン）について』	13名
令和5年 8月30日		講演会・事業検討 『高齢者保健事業と介護予防等の一体的実施について（習志野市の取り組みを学ぶ）』 講師 習志野市健康支援課	20名
令和5年 12月4日		HUG（避難所開設ゲーム） 『避難所開設ゲーム（HUG）風水害バージョン』 講師 日本防災士会千葉県支部 仲井 圭二氏 ファシリテーター：日本防災士会千葉県支部6名	30名
令和6年 1月15日		講演会・事業検討 『こども家庭センターにおける母子保健事業の推進』 講師 公益社団法人母子保健推進会議 会長 佐藤 拓代氏	37名
令和6年 2月7日		講演会 『After コロナの健康無関心層に向けた事業展開とは』 講師 筑波大学大学院教授 久野 譜也氏	34名

イ 所内保健師研究会

表1-(3)-イ 所内保健師研究会実施状況

開催年月日	主な内容	参加人員
令和5年 5月26日	1 今年度の保健師現任教育について 2 新任期保健師の目標設定と助言 3 その他 業務研究について他	20名
令和5年 8月29日	1 業務研究（演題登録）について 2 災害時対応について	17名
令和5年 11月28日	1 新任期保健師の中間の振り返り 2 業務研究の原稿提出について 3 その他 各課・支所における事業の共有等	16名
令和6年 3月1日	1 新任期保健師の振り返り 2 各課・支所における事業の共有 3 被災地派遣での活動報告	18名

ウ 保健所保健師ブロック研修会

表1-(3)-ウ 保健所保健師ブロック研修会実施状況

開催年月日	主な内容	参加人員
令和5年 11月2日	「誰もが活きる職場チームの作り方」 ～楽しく働くためのちょっとした工夫～ (香取保健所担当)	22名

エ その他

表1－(3)－エ その他

開催年月日	主 な 内 容	参加人員
令和5年 7月28日	印旛保健所管内保健師現任教育連絡会 (1) 各市町における保健師現任教育の取組み状況の共有 (2) 統括的役割を担う保健師の体制について (3) 令和5年度印旛保健所保健師現任教育計画について	18名

(4) 管内看護管理者研修会

表1－(4) 看護管理者研修状況

開催年月日	主 な 内 容	参加人員
令和6年 2月20日	講義・グループワーク 『看護職のレジリエンスと職場定着について』 講師 千葉県立保健医療大学 富樫 恵美子 氏	23名

2 母子保健事業

広域的・専門的な取り組みとして、管内専門医療機関・市町との連絡会議を開催し、母子保健事業を推進している。また、長期療養児療育指導として、個別支援や講演会等を実施し、災害時支援を含めた療養支援の充実を図っている。

思春期保健事業では、学校保健と地域保健の連携を深め、思春期保健の推進を図るため、学校関係者や行政保健師等を対象に研修会を実施している。

(1) 母子保健推進協議会

母子保健分野における広域的な健康課題について、管内市町・医師会・関係医療機関・児童相談所・学校保健関係者等の代表者から構成される協議会を開催している。

表 2 - (1) 母子保健推進協議会実施状況

開催年月日	委員数	主な協議内容
令和6年 2月26日	29名	(1) 産後ケア事業の推進について ア 産後ケア事業の管内の現状 イ 安全管理の推進 (2) 子どもの聴覚障害の早期発見について

(2) 母子保健従事者研修会

管内の母子保健従事者を対象に、研修会を実施し、資質の向上を図っている。

表 2 - (2) 母子保健従事者研修会実施状況

研修会の名称	開催年月日	参加者数・職種	内容
母子保健従事者研修会	令和6年 1月9日	11名 保健師	(1) 講義「3歳児健康診査視覚検査における保健師の役割～眼科疾患の早期発見及び日常生活への支援～」 (2) グループ別の情報交換 「各市町における3歳児健康診査視覚検査の現状、工夫していること、困っていること及び今後の課題」 【講師】学校法人北里研究所北里大学 医療衛生学部リハビリテーション学科 准教授 藤村 芙佐子氏

(5) 特定不妊治療費助成事業

特定不妊治療（体外受精・顕微授精）対象者に、千葉県特定不妊治療費助成事業実施要綱に基づく経費の助成を平成17年1月から開始した。

平成28年1月20日以降に治療を終了した方に対して、男性不妊治療費も助成対象となり15万円まで助成。初回の助成は30万円まで拡充された。

令和3年1月1日から新制度が施行され、助成金額の変更、所得制限撤廃、事実婚関係の申請が可能となった。

令和4年4月1日から特定不妊治療が保険適用となったことに伴い、従来の千葉県特定不妊治療費助成事業は終了となった。ただし、令和4年4月1日時点で治療が続いている方については、経過措置として1回のみ助成の対象となり、原則令和5年3月31日まで受け付け、治療終了日について令和5年2月～3月の方は、令和5年5月31日まで受け付けた。

表2－(5) 特定不妊治療費助成実施状況 (単位：件)

年度・市町村	件数		延件数内訳			
	実件数	延件数	体外受精	顕微授精	男性不妊	その他
令和3年度	591	1,028	177	402	0(0)	449
令和4年度	208	229	35	88	0(0)	106
令和5年度	4	4	1	0	0(0)	3
成田市	0	0	0	0	0(0)	0
佐倉市	1	1	0	0	0(0)	1
四街道市	1	1	1	0	0(0)	0
八街市	0	0	0	0	0(0)	0
印西市	2	2	0	0	0(0)	2
白井市	0	0	0	0	0(0)	0
富里市	0	0	0	0	0(0)	0
酒々井町	0	0	0	0	0(0)	0
栄町	0	0	0	0	0(0)	0

※男性不妊の件数は男性不妊治療単独の助成件数であり、()内の数値は、特定不妊治療を伴う男性不妊治療の助成件数である

(6) 不妊・不育相談事業

県では、不妊や不育に悩む夫婦等に、一般的な相談や検査・治療に関する情報提供、精神面での相談を不妊・不育オンライン相談で行っている。各保健所でも、随時、保健師が面接や電話等により相談支援を行っている。

(8) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

児童福祉法第19条の22に基づき、慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立支援を図るため、小児慢性特定疾病児童等及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、関係機関との連絡調整等を行う。

ア 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業（研修会、講演会、交流会等）

表2-(8)-ア 小児慢性特定疾患児童等自立支援事業

名 称	実施年月日	参加人数・内訳	内 容
地域関係者向け講演会	令和6年 3月7日	43名 (会場14名、 オンライン29名)	講演：「慢性疾患を抱えた児童への支援について」 講師：東京女子医科大学八千代医療センター 小児専門看護師 塚田 亜矢子氏 会場・オンライン併用のハイブリット式

イ 療育相談指導事業（療育指導連絡票に基づくもの）

表2-(8)-イ 療育相談指導内容

(単位：人)

内 容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談者数（延）	33	41	42
家庭看護指導	12	15	15
食事・栄養指導	17	29	22
歯科保健指導	6	8	5
福祉制度の紹介	11	13	15
精神的支援	26	30	29
学校との連絡	20	26	19
家族会等の紹介	7	6	3
その他	1	-	3

ウ 訪問指導事業（訪問相談員派遣を含む）

表2-(8)-ウ 訪問指導事業実施状況（疾患別）

（単位：件）

疾患名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総数	2	9	9
ネフローゼ症候群	-	1	-
気道狭窄	-	5	5
慢性肺疾患	1	2	-
肺動脈弁狭窄症	1	-	-
結節性硬化症	-	1	-
18トリソミー症候群	-	-	-
脊髄髄膜瘤	-	-	1
低酸素性虚血性脳症	-	-	2
先天性横隔膜ヘルニア	-	-	1

エ 窓口相談事業

表2-(8)-エ 相談内容

（単位：人）

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談者数（延）	68	49	82
申請等	31	16	59
医療	20	14	-
家庭看護	6	9	15
福祉制度	1	4	6
就労	-	-	-
就学	6	5	-
食事・栄養	2	-	-
歯科	-	-	-
その他	2	1	2

オ 訪問相談員派遣事業

表2-(8)-オ 訪問相談員派遣事業実施状況

区分 年度	人数	回数	実人員	延人員
令和3年度	1	1	1	1
令和4年度	1	1	1	1
令和5年度	0	0	0	0

(9) 療育の給付制度

療育医療（児童福祉法第 20 条）は、長期の療養を必要とする 18 歳未満の結核治療のために入院を要する児童に対しての医療給付及び学用品や日用品の支給を行うものである。平成 28 年度以降申請はない。

(10) 思春期保健相談事業

学校保健と地域保健の連携を深め、思春期保健の推進を図るため、学校関係者や行政保健師等を対象に講演会を実施している。

表 2 - (10) - ア 思春期保健関係者会議実施状況

名 称	開 催 年 月 日	参加者数・職種	内 容
—	—	—	—

表 2 - (10) - イ 思春期保健事業講演会

名 称	開 催 年 月 日	対象者・参加者数	内 容
思春期保健 研修会	令和 6 年 2 月 1 日	管内養護教諭、 市町母子保健担 当者等 33 名	講演「発達障害特性の理解と支援 ～児童期から思春期の課題を考える～」 講師 株式会社ライデック（発達特性研究 所） 松澤 大輔 先生

表 2 - (10) - ウ 思春期保健事業個別相談

名 称	開 催 回 数	相 談 件 数	対 象 者	内 容
—	—	—	—	—

(1 1) 旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等について
 平成 31 年 4 月 24 日に成立した「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律」に基づき、一時金に関する請求受付及び相談を行っている。

表 2 - (1 1) 管内居住者からの相談及び請求受付件数 (保健所受付分)

区 分 年 度	請求受付件数	相談件数 (延べ)		
		電話等相談	来所相談	計
令和 3 年 度	-	-	-	-
令和 4 年 度	-	-	-	-
令和 5 年 度	-	-	-	-

※ 一時金の支給に関する相談及び請求は健康福祉部児童家庭課でも居住地に関わらず県児童家庭課に 受付・相談窓口を開設している。

3 成人・老人保健事業

がん検診の受診率向上のため、がん及びがん検診に関する知識の修得を目的に健康推進員等を対象とした講習会を開催している。

(1) がん検診推進員育成講習会

各市町村の健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等（以下「推進員等」という。）に対し講習会を行い、がん検診推進員として育成し、これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより受診率の向上を図る。

表3－(1) がん検診推進員育成講習会

開催年月日	参加者数	内容
— (山武保健所担当)	—	—

(注) 山武保健所との輪番開催。

(2) その他のがん対策事業

なし

4 一人ひとりに応じた健康支援事業

生涯を通じて、一人ひとりが年代や性別、健康状態や生活習慣に応じ、的確な自己管理ができるよう、健康づくりの支援体制を充実することを目的としている。

(1) 健康相談事業

身体的、精神的な悩みを有する思春期以降の全年齢層にわたる男女を対象とし、電話相談に応じる。

表4－(1) 健康相談実施状況（電話） (単位：件)

年度	区分	男	女	総数
	令和3年度	52	62	114
令和4年度	10	19	29	
令和5年度	13	41	54	

5 総合的な自殺対策推進事業

平成 28 年に自殺対策基本法が改正され、すべての都道府県及び市町村が自殺対策計画を策定することとなった。管内市町の自殺対策事業が円滑に行われるよう、各種相談窓口の周知・案内を行い、要請のあった市町が主催する自殺対策会議に出席し、取り組みを情報共有し、関係機関の連携を図った。

令和 5 年 5 月 8 日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、5 類感染症法に移行したことを受け、対象に応じて基本的な感染対策を継続し、既存の事業を通しメンタルヘルス対策を実施した。指定難病患者等への個別支援時には精神状態に留意して保健指導を実施している。

(1) 住民向け講演会・相談対象者向け研修会

表 5 - (1) 研修会の実施状況

名 称	実施年月日	参加者数・職種	内 容
—	—	—	—

(2) その他の会議等

表 5 - (2) 会議等の開催状況

名 称	実施年月日	参加者数・職種	内 容
—	—	—	—

(3) その他の事業

自死遺族支援

社会福祉法人千葉いのちの電話による、わかちあいの会「ひだまり」を年 6 回（偶数月）、個人対面相談を年 6 回（奇数月）、当保健所を会場に開催した。

ア わかちあいの会「ひだまり」 6 回開催、参加者 延 15 人

イ 個人対面相談 4 回開催、参加者 延 9 人

6 地域・職域連携推進事業

地域保健と職域保健が連携し、生活習慣病予防対策等の保健事業の共同実施や地域保健関係機関等の相互活用、生涯を通じた継続的な保健サービスを提供するための体制整備を推進する。平成 26 年度から平成 28 年度は「がんの早期発見・予防」を、29 年度からは働く世代へ生活習慣病予防「糖尿病重症化予防」をテーマとして取り組んだ。

表 6 - (1) 印旛地域・職域連携推進協議会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
令和 6 年 1 月 31 日	26 名	(1) 令和 5 年度事業について (2) 平成 29 年度～令和 4 年度の取組に係る評価について (3) 令和 6 年度事業計画について

表 6 - (2) 印旛地域・職域連携推進協議会作業部会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
令和 5 年 8 月 9 日	19 名	(1) 印旛郡市がん検診の周知について (2) 歯科健診の受診勧奨(広報誌について) (3) 印旛地域・職域連携推進事業の評価について (4) 次年度テーマについて

表 6 - (3) 共同事業開催状況

開催年月日	主な内容
令和 5 年 5 月 30 日	労働基準協会全国安全週間説明会時に健康教育実施 テーマ「メタボリックシンドロームについて」(78 名)
令和 5 年 11 月 28 日	労働基準協会年末年始無災害運動説明会時に健康教育実施 テーマ「喫煙とメタボリックシンドロームの関係」(78 名)
適宜	歯科健診の受診勧奨用広報誌の作成、配布

ア 病態別個別指導

表 7 - (1) - ア 病態別個別指導状況 (単位：人)

種別 \ 区分	計	生活習慣病	難病	アレルギー疾患	摂食障害	その他
病態別栄養指導	2	2	-	-	-	-
病態別運動指導	-	-	-	-	-	-

イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

表 7 - (1) - イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

名称	開催年月日	対象者	参加数	内容
炎症性腸疾患講演会	令和 5 年 9 月 25 日	潰瘍性大腸炎、クローン病の患者・家族	20 組 33 人	(1) 講演「炎症性腸疾患患者に知ってほしい病気と治療の基本」 講師 東邦大学医療センター 佐倉病院 消化器内科 教授 松岡克善 氏 (2) 講演「腸にやさしく栄養をとるコツ」 講師 東邦大学医療センター 佐倉病院 栄養部 管理栄養士 金井理恵子 氏

ウ 地域における健康づくり推進事業

表 7 - (1) - ウ 地域における健康づくり推進事業実施状況

名称	開催年月日	対象者	参加数	内容
令和 5 年度 印旛地域栄養改善推進連絡会	令和 5 年 10 月 19 日	管内市町の糖尿病発症・重症化予防に関わる管理栄養士、保健師、事務職等	19 人	ハイブリッド(会場参集及び Zoom)方式による開催 【第一部】 ・講話(動画配信) 「(公社)千葉県栄養士会栄養ケア・ステーション事業の現状について」 講師 (公社)千葉県栄養士会 理事 佐々木 徹氏 ・情報提供「管内給食施設(病院)における栄養・食事指導実施状況と診療報酬上の栄養食事指導について」 ・情報交換「ハイリスクアプローチー糖尿病性腎症重症化予防プログラムと課題についてー」 【第二部】 食品製造・流通・メディア等を利用した食環境整備について

エ 国民（県民）健康・栄養調査

表7-（1）-エ 国民（県民）健康・栄養調査状況

調査名	調査地区（対象）	調査年月日・調査内容等
国民健康・栄養調査	佐倉市西志津地区 26世帯 51人	・令和5年11月8日 栄養摂取状況調査，生活習慣調査 ・令和5年11月9日 身体状況調査
	印西市小倉台地区 29世帯 72人	・令和5年11月14日 栄養摂取状況調査，生活習慣調査 ・令和5年11月15日 身体状況調査

オ 特別用途食品・食品に関する表示指導・普及啓発実施状況

表7-（1）-オ-（ア）食品に関する表示相談・普及啓発実施状況

		業者への相談対応・普及啓発				
		相談（個別）		普及啓発（集団）		
		実相談 食品数	延相談 件数	回数	延対象者数	内容 （講習会等）
特別用途食品及び 特定保健用食品について		-（-）	-（-）	-（-）	-（-）	
食品表示基準 について （保健事項）	栄養成分	28	28	-	-	
	特定保健用食品	-	-	-	-	
	栄養機能食品	-	-	-	-	
	機能性表示食品	-	-	-	-	
	その他※	1	1	-	-	
健康増進法第65条第1項 （虚偽誇大広告）		-	-	-	-	
その他一般食品について （いわゆる健康食品を含む）		-	-	-	-	

		県民への相談対応・普及啓発			
		相談（個別）	普及啓発（集団）		
		延相談件数	回数	延対象者数	内容 （講習会等）
特別用途食品及び 特定保健用食品について		-（-）	-（-）	-（-）	
食品表示基準 について （保健事項）	栄養成分	-	2	90	食生活改善推進員研修，健康教育出前講座
	特定保健用食品	-	-	-	
	栄養機能食品	-	-	-	
	機能性表示食品	-	-	-	
	その他※	-	-	-	
健康増進法第65条第1項 （虚偽誇大広告）		-	-	-	
その他一般食品について （いわゆる健康食品を含む）		-	-	-	

（ ）内は、特定保健用食品再掲

※ 栄養成分以外の内容だった場合（特保、栄養機能食品、機能性表示食品は除く）

表 7 - (1) - オ - (イ) 食品表示等に関する指導状況 (表示違反への対応)

		指導状況 (個別)	
		実指導食品数	延指導件数
食品表示基準について (保健事項)	栄養成分※	10 (-)	20 (-)
	機能性表示食品	-	-
	その他	-	-
健康増進法第 6 5 条第 1 項 (虚偽誇大広告)		-	-
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		-	-

※栄養機能食品、特定保健用食品を含む。() 内は、栄養機能食品、特定保健用食品再掲

表 7 - (1) - オ - (ウ) 特別用途食品に対する検査・指導件数 (単位 : 件)

管内で製造される特別用途食品数	実検査食品数	延検査・指導食品数
- (-)	- (-)	- (-)

() 内は、特定保健用食品再掲

カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導

表 7 - (1) - カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導状況

個 別		集団指導		
内 容	延人員	内 容	延回数	延参加者数
国民健康・栄養調査 食事調査結果返却	82	健康教育出前講座 講話「もっと活用！ 社食の栄養成分表示」	1	68 (再掲)

(2) 給食施設指導

管内給食施設 369 施設中、99 施設に対して栄養管理及び衛生管理について栄養指導員が食品衛生監視員とともに個別巡回指導を行った。

また、給食施設管理者・従事者研修会は、多くの従事者が受講できるよう、ハイブリッド方式により衛生管理を中心に研修会を開催した。栄養管理担当者研修会では、「幼児期の肥満対策」、「高齢者の低栄養予防」を取り上げて開催し、各施設における栄養管理の向上を図った。

給食施設状況

表 7 - (2) 給食施設状況

(単位：件)

施設 総数	管理栄養士のみ いる施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設			栄養士のみ いる施設		管理 栄養 士・ 養 士ど ちら もい ない 施設	管理栄養士 必置指定 施設		調理師の いる施設		調理 師の いな い施 設	栄養 成分 表示 施設	栄養 教育 実施 施設
	施 設 数	管理 栄養 士数	施 設 数	管理 栄養 士数	栄 養 士 数	施 設 数	栄 養 士 数		施 設 数	管理 栄養 士数	施 設 数	調 理 師 数			
369	116	162	75	170	120	107	132	71	12	74	271	685	98	358	227

ア 給食施設指導状況

表 7 - (2) - ア 給食施設指導状況

(単位：件)

区 分		計	特定給食施設		その他の 給食施設	
			1 回 300 食以上 又は 1 日 750 食以上	1 回 100 食以上 又は 1 日 250 食以上		
個別 指導	給食管理指導	巡回個別指導施設数	99	14	50	35
		その他指導施設数	463	54	242	167
	喫食者への栄養・運動指導延人員	-	-	-	-	
集団 指導	給食管理指導	回数	3	3		
		延施設数	247	27	159	61
	喫食者への 栄養運動指導	回数	-	-	-	-
		延人員	-	-	-	-

		総施設数	総指導施設数	管理栄養士・栄養士配置状況							
				管理栄養士のみ いる施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設		栄養士のみ いる施設		どちらもいない 施設	
				施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)
100食 /回, 250食 /日以上 (① 、② を除く)	計	202	49	58	14	45	14	59	14	40	7
	学校	23	2	13	2	1		4		5	
	病院	12	12	3	3	9	9				
	介護老人保健施設	16	4	7	1	8	2	1	1		
	介護医療院										
	老人福祉施設	36	10	17	6	18	3	1	1		
	児童福祉施設	84	12	15	1	8		41	10	20	1
	社会福祉施設	4				1		3			
	事業所	21	7	2	1			4		15	6
	寄宿舎	1						1			
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
	その他	5	2	1				4	2		
その 他の 給食 施設	計	93	36	25	9	11	6	30	14	27	7
	学校	2		1				1			
	病院	5	5	2	2	3	3				
	介護老人保健施設	2		1		1					
	介護医療院										
	老人福祉施設	15	4	10	2	1		4	2		
	児童福祉施設	37	13	6	1	6	3	17	7	8	2
	社会福祉施設	12	8	3	2			6	4	3	2
	事業所	10								10	
	寄宿舎	3	2	1	1					2	1
	矯正施設	1	1							1	1
	自衛隊										
	一般給食センター										
	その他	6	3	1	1			2	1	3	1

ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導

表7-（2）-ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導 （単位：件）

	給食施設開始届	給食施設廃止（休止）届	給食施設変更届
届出数	10	8	110
指導数	45	16	190

エ 給食施設集団指導

表7-（2）-エ 給食施設集団指導状況

名称	開催年月日	対象者	参加者数	内容
給食施設管理者・従事者研修会	令和5年 ①6月22日 ～7月14日 ②6月22日	管内（特定）給食届出施設の管理者・従事者等	①申込数 149施設 298人、動画再生回数 592回 ②会場による動画視聴 8施設8人	ハイブリッド（YouTube及び会場参集）方式による研修会 講演「給食施設の衛生管理」 講師 千葉県印旛保健所 食品衛生監視員 講話「給食施設の栄養管理と栄養成分表示について」 講師 千葉県印旛保健所 栄養指導員
給食施設栄養管理担当者研修会	令和5年 9月28日	幼稚園、児童福祉施設の管理栄養士・栄養士等	33施設 34人（内、1人は公立保育所主管課職員）	第1部 講演「子どもの体格評価と生活習慣病予防について」 講師 和洋女子大学 家政学部 健康栄養学科 教授 杉浦令子氏 第2部 グループ討議：体格評価結果を受けて実践できる取り組みについて
給食施設栄養管理担当者研修会	令和6年 2月28日	病院、介護老人保健施設、老人福祉施設、社会福祉施設等の管理栄養士・栄養士等	57施設 63人	第1部 講演「摂食嚥下機能の評価と食形態の選定」 講師 北総白井病院 摂食嚥下障害看護認定看護師 馬目美由紀氏 第2部 ①事例発表「摂食嚥下機能が低下している高齢者に関する栄養情報提供について」 ②グループ討議：給食利用者の栄養改善のために共有すべき情報とは

(3) 健康ちば協力店推進事業

表7-(3)-ア 健康ちば協力店登録状況

令和5年度登録件数			総登録件数
新規登録件数	変更件数	取消件数※	
5	-	-	15

表7-(3)-イ 健康ちば協力店推進事業実施状況

区分	飲食店等に対する普及啓発及び指導状況		登録後の協力店に対する指導			県民に対する普及啓発及び指導状況	
	回数	延人員	回数	延店舗数	延人員	回数	延人員
個別指導	-	-	-	-	-	-	169
集団指導	6	1,106	-	-	-	-	-
合計	6	1,106	-	-	-	-	169

(4) 栄養関係団体等への育成・支援

表7-(4) 栄養関係団体等への育成・支援状況

組織状況及び活動状況			保健所による育成状況	
名称	会員数及び加入組織数	活動内容	育成内容	延育成人員
印旛保健所管内食生活改善協議会	133人 3組織	地域住民の健康増進、市町組織間の活動交流	役員会の出席、総会（書面開催）・研修会（Zoom）開催支援	56人
印旛保健所管内栄養士会	65人	総会及び役員会の開催、研修会企画運営	役員会の出席、会の事業実施支援及び助言	39人
印旛保健所管内調理師会	127人	会員の資質向上	総会の出席	17人

(5) 市町村への技術・助言支援等

表7-(5)-ア 市町村への技術支援、助言

名称	開催月日	対象者	参加者数	内容
印旛郡市保健指導者研究会栄養士部会 役員会	令和5年 5月8日 7月10日 11月13日 令和6年 2月19日	栄養士部会 役員	各4人	栄養士部会年間の運営について 研究会企画・準備について 部会予算・次年度計画について 部会事業実績について

表7-(5) -イ 管内行政栄養士研究会等の開催状況

名 称	延回数	延参加人員	主な内容
印旛郡市保健指導者研究会 栄養士部会	4	84人	第1回(6月12日) 情報交換 ①「令和5年度事業計画について」 ②「介護予防と保健事業の一体的実施について」 講演「高齢者の低栄養と食事支援を支える 栄養補助食品～MCTを中心に～」
			第2回(8月7日) 情報交換「推進員活動について」 講演「小児の食物アレルギーの現状について」
			第3回(12月11日) 業務検討「20代から50代への 健康づくりに向けたアプローチ」他
			第4回(2月19日) 情報交換/業務検討「災害時の食支援について」 講演「食べない子どもの心に 大人はどう接するか」他

(6) 調理師試験及び免許関係

表7-(6) 調理師試験及び免許取扱状況

(単位:名)

年 度	調 理 師 試 験			免 許 交 付		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	新規交付	書換交付	再交付
令和3年度	128	83	64.8	154	29	44
令和4年度	104	65	62.5	116	32	24
令和5年度	86	45	52.3	115	29	25

8 歯科保健事業

難病及び障害者等を対象として歯・口腔の健康を維持増進するため、咀嚼や嚥下に関する知識を持ち、よりよい生活を送ることを目的として講演会を実施した。

(1) 難病及び障害者等歯科保健サービス事業

名称	対象者	開催月日	内容	参加人員
—	—	—	—	—

(2) 健歯児童生徒表彰及びむし歯予防に関する表彰

表8－(2) 健歯児童生徒表彰及びむし歯予防に関する表彰

名称	対象者	開催月日	内容	被表彰者
健歯児童生徒表彰及びむし歯予防に関する作品等の表彰	印旛郡市在住小中学生等	令和5年11月30日 (表彰状配布日)	1 むし歯予防に関する作品 表彰者 2 健歯児童生徒 受賞者 3 良い歯の学校 受賞校 (主催) 印旛郡市歯科医師会 印旛保健所 千葉県教育庁北総教育事務所	1 むし歯予防に関する作品 表彰者 146名 2 健歯児童生徒 受賞者 小学校 187名 中学校 95名 特別支援学校 12名 3 良い歯の学校 小学校 4校 中学校 1校

9 精神保健福祉事業

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、保健所は精神保健福祉行政の第一線機関として位置付けられおり、法律に基づく入院事務等の業務と併せ精神保健福祉相談員や保健師等による相談及び訪問をベースに専門性や広域での連携や調整が必要な事項について市町村、医療機関、障害福祉サービス事業所等の地域の支援機関と連携を図り受療援助、精神障害者の社会復帰支援、普及啓発など地域精神保健福祉活動を実施した。

(1) 管内病院からの届出等の状況

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部改正で、平成 26 年 4 月から保護者制度の廃止とともに、医療保護入院制度の見直しが図られている。

表 9 - (1) 管内病院からの届出等の状況 (単位：件)

種 別 年度	医療保護 入院者の 入院届	応急入院 届	医療保護 入院者の 退院届	措置症状 消退届	措置入院 者の定期 病状報告 書	医療保護 入院者の 定期病状 報告書	その他
令和3年度	616	-	610	53	4	437	5
令和4年度	591	1	563	16	4	515	3
令和5年度	571	2	584	18	7	512	9

※ その他は、転院許可申請 3 件、仮退院申請 3 件、再入院届 3 件の合計

(2) 措置入院関係

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、自傷他害のおそれのある精神障害者等の保護申請・通報・届出等への対応を行った。

表9-(2)-ア 申請・通報・届出及び移送処理状況 (単位：件)

処理 申請通報等の別	申請・通報 届出件数	診察の 必要が ないと 認めた 者	法第27条の診察を 受けた者			法第29条の2の診察を 受けた者			法第29条の2の 2の 移送業務		
			法第29 条該当 症状の 者	その他 の入院 形態	通院・ その他	法第29 条の2 該当症 状の者	その他 の入院 形態	通院・ その他	1次 移送	2次 移送	3次 移送
令和3年度	82	24	52	1	2	18	-	3	-	-	16
令和4年度	88	33	48	1	1	11	1	3	-	-	11
令和5年度	85	32	50	-	3	19	-	2	-	-	19
法第22条 一般人からの申請	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
法第23条 警察官からの通報	46	-	44	-	1	19	-	2	-	-	18
法第24条 検察官からの通報	19	11	6	-	2	-	-	-	-	-	1
法第25条 保護観察所の長 からの通報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
法第26条 矯正施設の長か らの通報	20	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-
法第26条の2 精神科病院管理 者からの届出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
法第26条の3 医療観察法に基 づく指定医療機 関管理者及び保 護観察所長から の通報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
法第27条第2 項 申請通報に基づ かない診察	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 「申請・通報・届出件数」は受理日で集計

- 2 「法第29条の2該当症状の者」は、原則として法第27条の診察を受けた者の内数
- 3 1次・2次移送は、診察までの移送、3次は措置決定後の病院までの移送
- 4 令和4年度23条及び26条通報を年度内受理し、翌年度に繰り越しが各1件あり

表9－(2)－イ 措置診察を受けた対象者の病名 (単位：件)

年度 結果	病名	総 数	統 合 失 調 症 等	気 分 障 害	器質性 精神障害		中毒性 精神障害			神 経 症 性 障 害 等	パ ー ソ ナ リ テ ィ 障 害	知 的 障 害	て ん か ん	発 達 障 害	そ の 他 の 精 神 障 害	そ の 他
					認 知 症	そ の 他	ア ル コ ー ル	覚 醒 剤	そ の 他							
					F0		F1									
					F00 ～ F03	F04 ～ F09	F10	F15								
令和3年度		58	42	4	-	1	2	-	1	1	2	-	2	-	2	
令和4年度		54	39	6	-	3	-	1	1	2	-	-	2	-	-	
令和5年度		55	35	12	1	-	1	1	-	1	-	2	-	1	-	1
診察 実施	要措置	50	34	11	1	-	1	1	-	1	-	1	-	-	-	-
	不要措置	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1

- ※1 緊急措置診察を実施した結果、措置不要となった者 2名
 2 緊急措置入院中に措置解除なった者 0名
 3 その他には病名不詳を含む。
 4 F0～F9、G40 は、世界保健機関（WHO）の国際疾病分類（ICD カテゴリー）の分類。

表9－(2)－ウ 管内病院における入院期間別措置入院患者数（令和6年3月31日現在）
 (単位：人)

入院期間 年度	総数	6か月未満	6か月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
令和3年度	8	8	-	-	-
令和4年度	3	3	-	-	-
令和5年度	6	5	1	-	-

表9－(2)－エ 申請・通報・届出関係の相談等 (単位：人)

性・年齢 区分	実数	性			年齢					延回数
		男	女	不明	20歳 未満	20歳 ～ 39歳	40歳 ～ 64歳	65歳 以上	不明	
相談	3	2	1	-	-	3	-	-	-	9
訪問	47	27	20	-	-	20	21	6	-	134
電話	84	48	36	-	11	30	37	6	-	809

(3) 医療保護入院のための移送（法第 34 条）

指定医の診察の結果、精神障害者であり、かつ直ちに入院させなければその者の医療及び保護を図るうえで著しく支障が認められるものの、本人の治療同意が得られない場合、その家族等のうちいずれかの者の同意がある時は、医療保護入院をさせるために知事の権限で応急入院指定病院に移送することができる。

表 9 - (3) 医療保護入院のための移送処理状況

(単位：件)

区 分 年 度	受付件数	指定医の診察件数	移送件数
令和 3 年度	-	-	-
令和 4 年度	-	-	-
令和 5 年度	-	-	-

(4) 精神保健福祉相談・訪問指導実施状況

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第 47 条に基づき、嘱託医による相談、精神保健福祉相談員・看護師・保健師による訪問、電話、来所、メールによる相談を実施している。また、国のガイドラインに基づき要件を満たす措置入院患者に対する退院後支援計画作成及び退院後支援を開始した。

表 9 - (4) - ア 精神科医師による定例相談

実 施 日	時 間	場 所
毎月 第 1 木曜日	14:00～16:00	印旛保健所 (健康福祉センター)
毎月 第 3 月曜日	14:30～16:00	印旛保健所 (健康福祉センター)
毎月 第 4 火曜日	14:00～16:00	印旛保健所 (健康福祉センター)
毎月 第 4 金曜日	14:00～16:00	印旛保健所 (健康福祉センター)

表9－(4)－イ 対象者の性・年齢

(単位：人)

性・年齢 区分	実数	性			年齢					延回数
		男	女	不明	20歳未満	20歳～39歳	40歳～64歳	65歳以上	不明	
令和3年度	202	118	84	-	12	69	71	42	8	485
令和4年度	139	75	64	-	11	42	59	25	2	456
令和5年度	182	97	85	-	12	58	81	27	4	438
成田市	24	14	10	-	3	11	7	3	-	69
佐倉市	48	25	23	-	4	14	24	5	1	115
四街道市	19	7	12	-	2	3	8	6	-	35
八街市	11	6	5	-	2	1	6	2	-	26
印西市	24	12	12	-	-	7	13	2	2	40
白井市	6	3	3	-	1	1	4	-	-	13
富里市	6	5	1	-	-	1	4	1	-	20
酒々井町	5	4	1	-	-	3	2	-	-	17
栄町	4	1	3	-	-	-	1	3	-	10
管外・不明	35	20	15	-	-	17	12	5	1	93
相談	95	47	48	-	8	24	41	18	4	210
訪問	87	50	37	-	4	34	40	9	-	228

※1 同一人により相談を3回・訪問を2回した場合、相談実数1、訪問実数1、計2となり、延回数は5回となる。

2 電話相談は計上していない。

表9－(4)－ウ 電話・メール相談延件数

(単位：件)

性 区分	性			
	計	男性	女性	不明
電話	4,516	2,252	2,236	28
メール	91	70	21	-

表9-(4)-エ 相談の種別 (延数) (単位: 件)

病名 区分	総 数	精神障害に関する 相談				中毒性精神 障害に関する 相談			ギ ヤ ン プ ルの 相 談	摂 食 障 害 の 相 談	心 の 健 康 相 談	思 春 期 の 相 談	老 年 期 の 相 談	て ん か ん	そ の 他 の 相 談	
		診 療 に 関 す る こ と	社 会 復 帰 等	生 活 支 援	そ の 他 の 相 談	ア ル コ ー ル	覚 醒 剤	そ の 他 の 中 毒								
令和3年度	485	226	18	81	78	10	1	-	-	-	41	-	11	-	19	
令和4年度	456	246	12	58	81	5	-	1	-	-	9	11	18	-	15	
令和5年度	438	302	7	35	54	3	1	3	-	-	4	6	20	-	3	
相 談	計	210	111	6	23	42	3	-	3	-	-	4	6	10	-	2
	男	107	58	5	17	13	1	-	2	-	-	1	6	4	-	-
	女	103	53	1	6	29	2	-	1	-	-	3	-	6	-	2
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
訪 問	計	228	191	1	12	12	-	1	-	-	-	-	-	10	-	1
	男	116	107	1	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	112	84	-	6	10	-	1	-	-	-	-	-	10	-	1
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表9-(4)-オ 援助の内容 (延数) (単位: 件)

種別 年度	総 数	医 学 的 指 導	受 療 援 助	生 活 指 導 生 活 支 援	社 会 復 帰 援 助	紹 介 ・ 連 絡	関 係 機 関 調 整 方 針 協 議	そ の 他
令和3年度	485	29	94	84	17	187	240	75
令和4年度	456	20	91	39	9	143	304	73
令和5年度	750	28	156	31	5	152	267	111

(注) 援助内容は重複あり

表9-(4)-カ 精神障害者の退院後支援相談対応件数 (単位: 件)

	支援計画対象者		
	本人同意あり	会議開催数	計画に基づく支援者
合 計	1	0	1
栄町	1	0	1

(5) 精神障害者社会復帰関係

デイケアクラブは廃止し、自助グループへの会場提供や運営支援を実施している。
運営主体は当事者である。

表9-(5)-ア 当事者支援の実施状況 (単位:人)

区分 年度	開催回 数	参加者					
		実人員			延人員		
		計	男	女	計	男	女
令和3年度	-	-	-	-	-	-	-
令和4年度	-	-	-	-	-	-	-
令和5年度	12	20	12	8	69	32	37

(6) 地域精神保健福祉関係

平成30年度より開始された精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築会議を委託先と協力して代表者会議、実務者会議、研修会を実施している。

表9-(6)-ア 会議・講演会等

会議・講演会等の名称	開催日	参加人数(人)	対象者等
精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 実務者会議 (ハイブリッド開催)	5月15日	38名	管内関係機関職員
精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 研修会 (ハイブリッド開催)	7月11日	59名	管内関係機関職員
精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 実務者会議 (ハイブリッド開催)	9月13日	48名	管内関係機関職員
精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 実務者会議 (ハイブリッド開催)	11月24日	42名	管内関係機関職員
精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 実務者会議 (ハイブリッド開催)	12月27日	38名	管内関係機関職員
精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 実務者会議 (対面開催)	2月27日	24名	管内関係機関職員

表 9 - (6) - イ 家族教室・断酒教室・ボランティア講座・心の健康市民講座等

教室・講座等の名称	開催日	受講者数		内容
		実件数 (件)	延件数 (件)	
令和 5 年度実施なし				

表 9 - (6) - ウ 組織育成・運営支援 (単位：件)

種 別 区 分	当事者支援	家族会支援	支援者支援	その他
令和 5 年度	20	15	—	—

(7) 心神喪失者等医療観察法関係

平成 1 7 年 7 月施行の心神喪失者等医療観察法は、心神喪失または心神耗弱により重大な他害行為を行った者に対して適切な医療を提供し社会復帰を促進することを目的としており、入院及び通院処遇中に保護観察所からの要請で会議に出席し、訪問活動も実施している。

表 9 - (7) 医療観察法に係る会議への参加 (単位：件)

会議種別	C P A 会議	ケア会議	その他
参加回数	5	5	—

- ・平成 17 年から医療観察法が施行されたことに伴い、保健所（健康福祉センター）においても各種会議への参加等が求められている。
- ・「その他」は、CPA 会議(Care Programme Approach の略)とケア会議以外の会議に参加した者を計上している。

10 肝炎治療特別促進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、平成20年度からインターフェロン治療、平成22年度から核酸アナログ製剤治療の医療費助成制度が開始され、窓口相談・申請手続業務を行っている。平成26年度にはインターフェロンフリー治療が助成対象となり、助成対象薬剤が拡充されたことに伴い、対象者が増加している状況である。なお、平成23年度から開始されたインターフェロン3剤併用療法については、プロテアーゼ阻害剤販売中止により令和3年10月に廃止された。

表10-(1) 肝炎治療特別促進事業受給者状況 (単位：人)

治療 年度・市町村	核酸アナログ 製剤	インターフェロン	インターフェロ ンフリー
令和3年度	345	1	68
令和4年度	376	0	46
令和5年度	379	1	44
成田市	49	0	11
佐倉市	84	0	13
四街道市	46	0	3
八街市	37	0	6
印西市	78	1	4
白井市	41	0	1
富里市	20	0	4
酒々井町	14	0	2
栄町	10	0	0

1 1 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

B型・C型ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者の医療費の負担軽減を図りつつ、最適な治療を選択できるようにするための研究を促進する仕組みを構築することを目的として平成30年12月から助成が開始され、窓口相談・申請手続業務を行っている。

また、令和3年4月から、分子標的薬を用いた化学療法または肝動注化学療法による通院治療の対象化、対象月数は、3月目以降に変更されている。

表 1 1 - (1) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者状 (単位 : 人)

年度・市町村	治療 肝がん	重度肝硬変	総数
令和2年度	2	-	2
令和3年度	2	-	2
令和4年度	-	-	-
成田市	-	-	-
佐倉市	-	-	-
四街道市	-	-	-
八街市	-	-	-
印西市	-	-	-
白井市	-	-	-
富里市	-	-	-
酒々井町	-	-	-
栄町	-	-	-

1 2 難病対策事業

原因不明であって、治療方法が確立されていないため、長期にわたる療養が必要となり、高額な医療費の負担が必要となる難病に対し、医療費の自己負担分を助成している。対象は、法制化前の 56 疾患（特定疾患）から法制化後に徐々に拡大し、341 疾病（指定難病）となっている。

また、これらの患者やその家族が抱える医療や療養生活に関する問題等に対し、専門医による相談、保健師等による訪問指導や窓口相談を実施した。

表 1 2 - (1) 特定疾患治療研究費受給者状況 (単位 : 件)

年度・市町村別 疾患名	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	成 田 市	佐 倉 市	四 街 道 市	八 街 市	印 西 市	白 井 市	富 里 市	酒 々 井 町	栄 町
総 数	3	3	3	-	1	2	-	-	-	-	-	-
スモン	3	3	3	-	1	2	-	-	-	-	-	-

表 1 2 - (2) 指定難病医療費助成制度受給者状況 (単位 : 件)

疾患名	年度・市町村別											
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	成田市	佐倉市	四街道市	八街市	印西市	白井市	富里市	印旛郡酒々井町	印旛郡栄町
総数	5231	5512	5904	1030	1543	778	544	813	437	400	181	178
1 球脊髄性筋萎縮症	11	13	13	3	1	1	1	2	2	2	1	0
2 筋萎縮性側索硬化症	38	33	36	10	3	6	3	7	3	3	0	1
3 脊髄性筋萎縮症	5	4	7	0	2	1	0	3	1	0	0	0
4 原発性側索硬化症	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 進行性核上性麻痺	43	49	60	11	19	5	4	3	8	2	4	4
6 パーキンソン病	777	793	814	128	211	80	75	134	65	56	35	30
7 大脳皮質基底核変性症	26	28	31	2	15	6	2	2	1	2	0	1
8 ハンチントン病	7	8	9	0	1	3	1	0	1	2	1	0
9 神経有棘赤血球症	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 シャルコー・マリー・トウス病	7	6	7	0	3	1	2	0	0	0	0	1
11 重症筋無力症	136	147	161	26	40	20	11	19	20	8	7	10
12 先天性筋無力症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	103	113	120	21	32	14	6	23	8	8	4	4
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多発性運動ニューロパチー	20	20	18	1	3	3	3	1	2	2	2	1
15 封入体筋炎	8	7	5	0	1	2	0	0	1	0	1	0
16 クロウ・深瀬症候群	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
17 多系統萎縮症	59	63	58	10	17	6	6	8	3	3	2	3
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	174	177	167	24	54	22	18	14	8	21	4	2
19 ライソゾーム病	3	3	5	1	2	0	1	0	0	1	0	0
20 副腎白質ジストロフィー	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
21 ミトコンドリア病	3	5	6	2	0	1	0	0	1	0	1	1
22 もやもや病	66	70	71	10	17	11	7	7	10	5	2	2
23 プリオン病	6	5	5	1	2	0	0	1	0	1	0	0
24 亜急性硬化性全脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25 進行性多巣性白質脳症	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
26 HTLV-1 関連脊髄症	3	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0
27 特異性基底核石灰化症	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
28 全身性アミロイドーシス	6	14	20	3	3	2	2	3	1	3	1	2
29 ウルリッヒ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30 遠位型ミオパチー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31 ベスレムミオパチー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32 自己食食空胞性ミオパチー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33 シュワルツ・ヤンヘル症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34 神経線維腫症	10	8	10	2	3	0	3	1	1	0	0	0
35 天疱瘡	17	16	22	2	3	3	1	7	5	0	0	1
36 表皮水疱症	2	2	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0
37 膿疱性乾癬(汎発型)	10	11	13	1	3	0	2	5	0	0	0	2
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
39 中毒性表皮壊死症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40 高安動脈炎	26	27	28	4	8	6	0	3	4	2	1	0
41 巨細胞性動脈炎	15	19	20	2	7	4	2	1	0	2	0	2
42 結節性多発動脈炎	10	11	11	2	4	1	0	2	1	0	1	0
43 顕微鏡的多発血管炎	64	64	70	10	19	8	12	9	1	9	2	0
44 多発血管炎性肉芽腫症	20	22	24	7	3	4	4	4	0	0	1	1
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	44	56	64	14	23	7	3	8	5	3	1	0
46 悪性関節リウマチ	25	28	27	4	3	3	3	7	1	4	2	0
47 パージャール病	12	10	10	2	3	1	0	0	2	1	0	1
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	5	7	5	1	1	1	0	0	0	0	2	0
49 全身性エリテマトーデス	351	362	371	67	98	51	35	50	27	23	7	13
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	107	111	121	21	31	19	9	15	10	9	2	5
51 全身性強皮症	117	117	124	14	45	9	10	17	8	8	6	7
52 混合性結合組織病	60	64	68	12	18	11	7	7	7	2	3	1
53 シェーグレン症候群	42	50	57	10	14	12	3	8	5	3	1	1
54 成人発症ステル病	22	26	28	3	7	3	6	5	1	2	0	1
55 再発性多発軟骨炎	3	5	5	0	1	1	1	0	0	1	1	0
56 ペーチェット病	99	96	92	15	27	13	9	10	7	7	2	2
57 特発性拡張型心筋症	102	99	96	21	24	15	8	10	3	9	3	3
58 肥大型心筋症	27	30	36	6	6	3	7	3	5	4	1	1
59 拘束型心筋症	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
60 再生不良性貧血	52	48	50	9	12	7	5	3	4	5	3	2
61 自己免疫性溶血性貧血	7	7	8	0	3	2	0	2	1	0	0	0
62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	3	3	5	2	0	2	0	0	0	1	0	0
63 特発性血小板減少性紫斑病	77	83	98	16	21	18	11	14	5	7	0	6
64 血栓性血小板減少性紫斑病	2	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0
65 原発性免疫不全症候群	19	20	21	6	4	3	2	1	1	2	2	0
66 IgA腎症	71	74	85	11	32	9	13	7	4	4	2	3

145	ウエスト症候群	1	1	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0
146	大田原症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
147	早期ミオクローニ脳症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
150	環状20番染色体症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
151	ラスムッセン脳炎	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
152	PCDH19 関連症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
153	難治顔面部分発作重積型急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
156	レット症候群	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
158	結節性硬化症	5	7	8	2	1	2	1	0	1	0	0	1
159	色素性乾皮症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
160	先天性魚鱗癬	1	1	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	12	13	12	4	0	1	3	4	0	0	0	0
163	特発性後天性全身性無汗症	1	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
164	眼皮膚白皮症	2	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
167	マルファン症候群/ロイス・ディーツ症候群	10	11	13	1	2	1	0	2	2	4	0	1
168	エーラス・ダロス症候群	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
169	メンケス病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
170	オクシタール・ホーン症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
171	ウィルソン病	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
172	低ホスファターゼ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
173	VATER 症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
174	那須・ハコラ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
175	ウィーバー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
176	コフィン・ローリー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
177	ジュベール症候群関連疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
179	ウリアムズ症候群	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
180	ATR-X 症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
181	クルーゾン症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
182	アペール症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
183	ファイファー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
184	アントレー・ビクスラー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
185	コフィン・シリシ症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
186	ロスムンド・トムソン症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
187	歌舞伎症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
188	多脾症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
189	無脾症候群	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
190	鰓耳腎症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
191	ウエルナー症候群	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
192	コケイン症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
193	ブラダー・ウィリ症候群	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
194	ソトス症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
195	ヌーナン症候群	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
196	ヤング・シンブソン症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
197	1p36 欠失症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
198	4p 欠失症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
199	5p 欠失症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
201	アンジェルマン症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
202	スミス・マガニス症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
203	22q11.2 欠失症候群	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
204	エマヌエル症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
205	脆弱X症候群関連疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
206	脆弱X症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
207	総動脈幹遺残症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
208	修正大血管転位症	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
209	完全大血管転位症	4	5	4	0	0	1	3	0	0	0	0	0
210	単心室症	2	3	4	0	0	1	1	0	1	1	0	0
211	左心低形成症候群	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
212	三尖弁閉鎖症	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
213	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	2	2	3	2	0	0	0	1	0	0	0	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
215	ファロー四徴症	6	5	5	1	1	0	1	1	0	0	0	1
216	両大血管右室起始症	4	4	3	1	1	0	0	0	0	0	1	0
217	エプスタイン病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
218	アルポート症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
220	急速進行性糸球体腎炎	7	9	7	1	3	1	0	1	1	0	0	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
222	一次性ネフローゼ症候群	69	83	92	15	24	12	7	13	9	9	3	0

223	一次性慢性増殖性糸球体腎炎	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0
224	紫斑病性腎炎	6	8	8	1	2	2	1	1	1	0	0	0
225	先天性腎性尿管症	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	3	3	4	1	1	1	0	1	0	0	0	0
227	オスラー病	6	4	5	0	3	1	1	0	0	0	0	0
228	閉塞性細気管支炎	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
230	肺胞低換気症候群	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
232	カーニー複合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
233	ウォルフラム症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
234	ベルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
235	副甲状腺機能低下症	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	3	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
240	フェニルケトン尿症	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
241	高チロシン血症1型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
242	高チロシン血症2型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
243	高チロシン血症3型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
244	メーブルシロップ尿症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
245	プロピオン酸血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
246	メチルマロン酸血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
247	イソ吉草酸血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	2	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0
249	グルタル酸血症1型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
250	グルタル酸血症2型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
251	尿素サイクル異常症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
254	ポルフィン症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
256	筋型糖原病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
257	肝型糖原病	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
260	シトステロール血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
261	タンジール病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
263	脳髄黄色腫症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
264	無βリポタンパク血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
265	脂肪萎縮症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
266	家族性地中海熱	2	3	9	1	1	2	1	1	0	2	0	1
267	高IgD症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
268	中條・西村症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
271	強直性脊椎炎	35	38	42	9	14	6	3	6	2	0	1	1
272	進行性骨化性線維異形成症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
274	骨形成不全症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
275	タナトフォリック骨異形成症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
276	軟骨無形成症	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
278	巨大リンパ管奇形(顔部顔面病変)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
279	巨大静脈奇形(顔部口腔咽頭びまん性病変)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
280	巨大動脈奇形(顔部顔面又は四肢病変)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
283	後天性赤芽球癆	3	3	4	1	2	0	0	1	0	0	0	0
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
285	ファンコニ貧血	2	3	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
287	エプスタイン症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	2	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0
289	クローンカイト・カナダ症候群	1	2	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
291	ヒルシュブルグ病(全結腸型又は小腸型)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
292	総排泄腔外反症	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
293	総排泄腔遺残	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
296	胆道閉鎖症	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
297	アラジール症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
298	遺伝性膀胱炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
299	嚢胞性線維症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
300	IgG4関連疾患	15	19	30	4	9	6	3	4	3	1	0	0

301	黄斑ジストロフィー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
302	レーベル遺伝性視神経症	2	2	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
303	アッシュヤー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
304	若年発症型両側性感音難聴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
305	遅発性内リンパ水腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
306	好酸球性副鼻腔炎	116	143	196	39	45	26	15	41	12	10	4	4	4
307	カナハン病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
308	進行性白質脳症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
310	先天異常症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B 関連腎症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
316	カルニチン回路異常症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
317	三頭筋素欠損症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
318	シトリン欠損症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
321	非ケトース型高グリシン血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
323	芳香族 L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
324	メチルグルタコン酸尿症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
325	遺伝性自己炎症疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
326	大理石骨病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	2	3	3	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0
328	前眼部形成異常	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
329	無虹彩症	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
331	特発性多中心性キャッスルマン病	13	14	16	3	5	0	2	1	2	3	0	0	0
332	膠様滴状角膜炎ジストロフィー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
334	脳クレアチン欠乏症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
335	ネフロン癆	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
336	家族性低βリポタンパク血症1(ホモ接合体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
337	ホモンシチン尿症	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
339	MECP2重複症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
340	線毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群を含む。)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
341	TRPV4異常症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表12-(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況 (単位:人)

年度	総数	成田市	佐倉市	四街道市	八街市	印西市	白井市	富里市	酒々井町	栄町
令和3年度	23	6	4	1	5	3	1	-	1	2
令和4年度	21	6	3	1	3	4	1	-	1	2
令和5年度	23	8	3	2	2	4	1	1	1	1

(4) 難病相談事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

表12-(4)-ア 在宅療養支援計画策定・評価会議実施状況 (単位：人)

区分 年度	支援計画 策定 実施件数	支援計画 評価 実施件数	構 成 員					
			専 門 医	家 庭 医	看 護 師	理 学 療 法 士	保 健 師	そ の 他
令和3年度	7	7	5	—	6	4	9	66
令和4年度	6	6	3	2	8	1	7	33
令和5年度	—	1	2	—	3	2	2	9

イ 訪問相談事業

(ア) 訪問相談員派遣事業

表12-(4)-イ-(ア) 訪問相談員派遣事業実施状況

区分 年度	人 数	回 数	実 人 員	延 人 員
令和3年度	1	—	—	—
令和4年度	2	1	1	1
令和5年度	2	9	3	9

(イ) 訪問相談員育成事業

表12-(4)-イ-(イ) 訪問相談員育成事業実施状況

区分 年度	実施日	主 な 内 容	職 種	人 数
令和3年度	令和3年 11月5日	講演「レスキューナースに 学ぶ！地震時の防災対 策について」 辻直美氏 (国際レスキューナース) Web開催	訪問相談員の ほか、介護支 援専門員等 地域の支援者	55人
令和4年度	① 令和4年 5月18日 ② 令和4年 10月12日 ③ 令和5年 1月18日	① ③「難病医療費助成事業 について」 保健所保健師 ② 講演「スキンケア・排泄 に関して」 認定看護師 大塚真由美氏	① ③ 介護支 援事業所 職員等 ② 訪問看 護師・介 護支 援専門 員等	① 23人 ② 34人 ③ 23人
令和5年度	① 令和5年 11月9日 ② 令和5年 12月12日	① 講演「難病についてみんな で知ろう！学びあおう！」 ② 講演「支援事例の紹介～ALS 患者さんを中心に～」 「コ ミュニケーション支援につ いて」	① 介護支 援専門 員等 ② 介護支 援専門 員、MSW 等	① 138人 ② 24人

ウ 医療相談事業

表12-(4)-ウ 医療相談事業実施状況

実施日	参加人数	実施会場	対象疾患	実施内容	従事者人数
令和5年 8月2日	21人	印旛保健所	神経難病	講演「嚥下障害について」	9人
令和5年 9月25日	33人	印旛保健所	潰瘍性大腸炎・クローン病	講演「炎症性腸疾患患者さんに知ってほしい病気と治療の基本」 「腸にやさしく栄養をとるコツ」	7人

エ 訪問指導事業

表12-(4)-エ 訪問指導事業実施状況(疾患別) (単位：件)

疾患名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総数	39	24	15
2 筋萎縮性側索硬化症	36	21	10
6 パーキンソン病	—	—	1
8 ハンチントン病	—	1	—
17 多系統萎縮症	1	—	—
18 脊髄小脳変性症	—	1	2
23 プリオン病	—	—	2
57 特発性拡張型心筋症	1	—	—
85 特発性間質性肺炎	1	—	—
113 筋ジストロフィー	—	1	—

オ 訪問診療等事業

表12-(4)-オ 訪問診療等事業実施状況 (単位：人)

区分	指導人数		実施方法	従事者人数					
	実人員	延人員		専門医	主治医	看護師	理学療法士等	保健師	その他
年度									
令和3年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
令和4年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
令和5年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 訪問リハビリテーションも含む。

カ 窓口相談事業

表 1 2 - (4) - カ 相談内容

(単位：人)

内 容	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
相 談 者 数 (延)	972	531	487
申 請 等	169	173	372
医 療	205	97	19
家 庭 看 護	139	42	39
福 祉 制 度	169	126	43
就 労	119	65	3
就 学	9	4	3
食 事 ・ 栄 養	89	16	4
歯 科	6	-	-
そ の 他	67	8	4

キ 難病対策地域協議会

表 1 2 - (4) - キ 難病対策地域協議会実施状況

実施日	テーマ	構成員 (職種)	延人数	内 容
-	-	-	-	-

13 受動喫煙対策

健康増進法の改正により、令和元年7月1日に子どもや患者等が主な利用者となる施設は原則敷地内禁煙となった。また、令和2年4月1日から多くの人が利用する全ての施設において原則屋内禁煙となった。施設からの問合せや県民からの苦情等に基づく助言・指導等を行うとともに、指導によって改善が認められない場合等必要に応じて立入検査を実施した。

表13-(1)-ア 問合せ・苦情届出状況

区分 年度	件数	内 訳				
		第一種 施設	第二種 施設	喫煙目的 施設	旅客運送 事業	規制対象外
令和3年度	20	-	20	-	-	-
令和4年度	18	-	17	-	-	1
令和5年度	15	-	15	-	-	-

表13-(1)-イ 立入検査状況

区分 年度	件数	内 訳				
		第一種 施設	第二種 施設	喫煙目的 施設	旅客運送 事業	規制対象外
令和3年度	-	-	-	-	-	-
令和4年度	-	-	-	-	-	-
令和5年度	-	-	-	-	-	-

14 市町村支援

管内市町の保健事業が円滑な推進が図られるよう、市町健康づくり推進協議会等へ委員として参加し、事業計画・評価等の支援をしている。

(1) 市町村への支援状況

表14- (1) 市町村への支援状況

項目 市町村	会 議 ・ 連 絡				技術的支援		
	会 議 名	回数	職種	主 な テ ー マ	事 業 名	回 数	職 種
成 田 市	成田市健康づくり推進協議会	1回	課	1)令和4年度健康増進課事業実績について 2)成田市健康増進計画の進捗状況について 3)成田市歯と口腔の健康づくり計画の進捗及び中間評価について			
	成田市精神保健福祉推進協議会	4回	精	1)令和5年度事業計画について 2)精神保健福祉フォーラムについて 3)メンタルヘルスフェア成田について 4)社会資源整備検討部会について	-	-	-
佐 倉 市	佐倉市健やかまちづくり推進委員会	1回	課	佐倉市健康増進計画「健康さくら 21(第3次)」(案)及び今後の計画策定スケジュールについて	-	-	-
四 街 道 市	四街道市保健福祉審議会	4回	次	1)第9期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定について 2)第2次健康よつかいどう21プランについて 3)部会の設置について 4)第2次健康よつかいどう21プラン(改訂版)案について	-	-	-
八 街 市	八街市健康づくり推進協議会	1回	課	1)令和4年度健康増進課事業報告(見込み)について 2)令和6年度健康増進課事業計画(案)について	-	-	-

印西市	印西市健康づくり推進協議会	2回	課	1)令和4年度事業報告について 2)令和5年度事業計画(案)について 3)第3次健康いんざい21～印西市健康増進・食育推進計画～の策定、進捗状況について 4)市民アンケート「印西市健康と食育に関する調査」について 5)いのち支えあういんざい自殺対策計画の進捗状況について	—	—	—
白井市	白井市健康づくり推進協議会	2回	課	1)第3次しろい健康プランについて(説明) 2)第3次しろい健康プラン 令和4年度の実績・評価について(説明) 3)第3次しろい健康プラン 令和4年度の実績・評価について(質疑)	—	—	—
富里市	富里市健康づくり推進審議会	2回	課	1)令和4年度保健事業報告について 2)令和5年度保健事業実施計画について 3)「健康プラン中間評価報告・後期計画(案)」のパブリックコメント実施報告、答申(案)について 4)受動喫煙防止対策ガイドライン(案)の策定について	—	—	—
栄町	栄町健康づくり推進協議会	3回	課	1)第5期健康増進計画策定について 2)第5期健康増進計画策定素案について	—	—	—

*職種：医（所長）、次（次長）、課（課長）、保（保健師）、栄（栄養士）、精（精神保健福祉相談員）、事（一般行政）